

# 平成22年度 会務・事業計画

## 1 会務

- 1 理事会…… 1回
- 2 常任理事会…… 8回
- 3 その他…… 副理事長会、事務局会、各委員会、支部長会議等は必要に応じて開催する。

## 2 事業

### 2 4 ぎふ清流国体に向けての競技推進本部

#### 《重点施策》

- ア、24年国体天皇杯・皇后杯確保を目指して、長期的展望にたった強化対策の実践。
- イ、「練習会・壮行試合・激励会」などを開催し、監督や選手の意識高揚を図る。
- ウ、小・中・高・大学の一貫した強化対策事業の推進を図る。
  - ①ターゲットエイジ（チーム岐阜）  
（強化指定選手の合同練習会や強豪チーム招待強化練習会）
  - ②ジュニアグロウアップ作戦事業  
（日本一づくりを目指した小・中学生の強化育成）
  - ③バレーボール教室  
（地区の底辺拡大と優秀選手の発掘）
- エ、県実行委員会ならびに会場地市町との連携を図る。
- オ、「ぎふ清流国体」に向け各委員会との連携を図る。
- カ、委員会組織の充実を図る。

## 1 競技委員会

#### 《重点施策》

- ア、平成22年度東海ブロック国体を実施するに当たり、各支部・各連盟競技委員会の組織強化を図る。
- イ、県協会が主管する特別大会の円滑なる競技運営を図る。
  - ・2010/11V・プレミアリーグ男子大会
  - ・2010/11V・チャレンジリーグ男子大会
- ウ、県内競技会の日程調整及び会場を確保し、円滑な運営を行う。
- エ、県内会場の施設・設備及び料金を調査し、会場確保に活用する。
- オ、JVA-MRSによる競技会参加申込みを推進する。  
（各連盟の方針により書類申請も可とする）

#### 《会議・研修等》

- ア、平成24年第（67回）「ぎふ清流国体」に向け、千葉国体を視察する。
- イ、東海連盟競技委員長会議への参加（5月・12月）
- ウ、全国競技委員長研修会への参加（3月）
- エ、県内競技委員会の開催（3月末）

## 2 審判委員会

### 《重点施策》

- ア、審判判定基準の確立とゲーム運営の円滑化を図る。
- 全国6人制審判講習会及び全国9人制審判講習会へ参加して、改正されたルール及びその取り扱い、そして判定基準などを正確に理解するように努める。
  - 東海ブロックA級審判員研修会へ参加して、指導的立場のA級審判員の判定基準及び取り扱いの統一化を図る。
  - 県内・各地区・各種別審判伝達講習会を開催し、審判員に対し、競技規則及びその取り扱いに関する一層の理解と正確なルールの適用を求め、ゲームを円滑に運営できるように指導する。
- イ、実働審判員の数を増やすとともに底辺の拡大を図る。
- JVA-B・C級審判員資格取得審査講習会を実施する。
  - GVA-A級・B級審判員資格取得講習会を実施する。
  - 若手審判員や女性審判員の人材を発掘し、育成に努める。
  - 各種別において、帯同審判員制度を確立して、新しい審判員の発掘・育成に努める。
  - 平成24年ぎふ清流国体に向けて、本大会においての実働審判員を養成する。
  - 生涯スポーツ社会で活躍できる熟年層スタッフの活動機会を広げる。
- ウ、審判技術向上のための研修に努める。
- JVA-A級候補審判員研修会（ACキャンプ）に参加して、A級審判員としてのスキルアップに努める。
  - JVA-B級審判員研修会（B級キャンプ）に参加して、平成23年度JVA-A級審判員資格取得審査講習会を受講できる基本的審判技術の習得に努める。
  - JVA6人制A級審判員強化事業及びJVAレフェリースクール（Vスクール・9人制スクール）に参加して、トップレベルでの審判実践が行なえるような審判技術を習得する。
  - 全国大会・東海大会へ積極的に審判員を派遣する。
  - 全国上級判定員認定講習会に参加して、技術統計部の充実を図る。
  - 2010/11 V・プレミアリーグノスコアラー・ラインジャッジ・技術判定員研修会を実施して、県内で開催される「2010/11V・プレミアリーグ」、「2010/11 V・チャレンジリーグ」の効率的で円滑な試合運営を行なう。
- エ、中堅審判員の指導力向上に努め、その育成を図る。
- 各種競技会において、コントローラーなど指導的役割を務められる人材を育成する。
  - 審判員指導者講習会を実施して、指導的立場の審判員の育成及び指導方法の統一化を図る。
- オ、審判委員会の組織の充実を図り、審判員の把握に努める。
- 各種別委員会及び各地区委員会の充実を図る。
  - 各部会の充実を図り、審判委員会の運営の円滑化に努める。
- カ、審判委員会の事業及び活動を広く伝え、審判活動の普及・発展に努める。
- ホームページを通じて、審判委員会の事業や活動を広く伝える。
  - ホームページを通じて、競技規則及び取り扱いを正確に伝える。
- キ、審判員の地位向上と審判活動の環境向上に努める。

岐阜県審判委員会ホームページアドレス

<http://www.gva.jp/>

### 《事業計画》

#### JVA・東海ブロック事業計画

No.	事業名	期日	場所	人数
1	平成22年度全国9人制審判講習会	4/3~4/4	千葉(茂原市)	3~4名
2	平成22年度東海ブロックA級審判員研修会	4/10~4/11	静岡	8~10名
3	平成22年度全国ラインジャッジ・クリニック	5月	大阪	1~2名
4	平成22年度全国ビーチバレー審判研修会	6月	未定	1名

5	平成22年度9人制レフェリースクール(9人制スクール)	7月～9月	大阪ほか	1名
6	平成22年度6人制レフェリースクール(Vスクール)	6月・9月	※	1名
7	平成22年度A級候補審判員研修会(ACキャンプ)	8月中旬	大阪	2名
8	平成22年度B級審判員講習会(B級キャンプ)	8月中旬	大阪	1～2名
9	平成22年度JVA6人制A級審判員強化事業	12月初旬	東京	数名
10	平成22年度全国審判委員長研修会	3月下旬	東京	1名
11	平成22年度全国6人制審判講習会	3月下旬	東京	3～4名
12	平成22年度全国判定員指導員研修会	3月下旬	東京	1名
13	東海連盟審判委員長会議	5月・12月	※	1～2名
14	全国・中部・東海大会への審判員の派遣	※	各地	※

#### 県内事業計画

No.	事業名	期日	会場
1	平成22年度岐阜県6・9人制審判伝達講習会	4/17	関市総合体育館
2	平成22年度岐阜県家庭婦人連盟審判講習会	4/25	関市総合体育館
3	2010/11V・プレミアリーグ ラインジャッジ・技術統計員研修会	11/21 2/6	岐阜アリーナ 岐阜アリーナ
4	JVA-B/JVA-C級審判員資格取得審査講習会	12～1月	※
5	GVA-A/GVA-B級審判員資格取得審査講習会	数回	各地区
6	審判員指導者講習会	10～11月	※
7	平成22年度審判員総会	2月中旬	飛騨地区
8	審判常任委員会・審判運営委員会	4～5回	各地区
9	県内大会への審判員の派遣	※	※

### 3 指導普及委員会

#### 《重点施策》

- ア、バレーボール人口の拡大および競技者の普及の推進
- イ、バレーボール指導者の養成
- ウ、ぎふ清流国体に向けて指導者の育成に努める

### 4 発掘委員会

#### 《重点施策》

- ア、各種別・各委員会と連携を図り、優秀なジュニアを早期に発掘し長期的展望にたつて、育成強化の支援をする
- イ、ジュニアへの底辺拡大のできる魅力ある大会企画・運営

### 5 事務局

#### 《事業》

- ア、『平成22年度バレーボール要覧』のHPへの掲載
- イ、大会結果のHPへの掲載
  - ①大会結果の早期把握に努め、正確かつ迅速に結果を掲載する
  - ②大会組合せについても、出来るだけ掲載出来るように努める
- ウ、各種特別事業の企画・運営
  - ①特別事業の実施は、早期に企画し実行委員会により運営する
  - ②各支部での開催時には、全面的な協力体制を図る

#### 《会計》

- ア、予算に基づき、円滑並びに適正に執行する
  - ①会計の明朗化、迅速化、適正化に努める

- ②証拠書類の完備、振込等による支出、複数による調書の確認を行う
- イ、積極的な広報活動及び広告等収入のアップを図る
- ①賛助会員の発掘に努める

## 《連絡調整》

- ア、理事・常任理事会の召集
- イ、各関係機関との連絡調整を図る
  - ①関係機関の対応者の分担制を敷き、迅速な対応に努める
  - ②各委員会との連絡を密にし、迅速な対応に努める
- ウ、その他慶弔等に関する諸連絡
  - ①慶弔に関する情報の早期入手、早期連絡を図る
  - ②正確性、迅速化を図るため、インターネットなどを活用した連絡網並びに連絡方法の改善を図る

## 《重点施策》

- ア、事務局体制の整備を図る
  - ①各支部・種別の事務局長（総務委員長等）と事務局との連携を緊密にし、事務局長会議を開催するなど「事務局ネットワーク」の構築を図る
  - ②「事務局ネットワーク」を活用し、各種県内大会・東海大会・全国大会の円滑な事務処理並びに会計処理に努める
- イ、協会ホームページの充実について
  - ①ホームページの内容を充実する

岐阜県バレーボール協会ホームページアドレス  
<http://www18.ocn.ne.jp/~gva-ko>